

科学者委員会広報分科会（第22期第16回）議事要旨

1. 日 時 平成25年4月2日（火）12:20～13:20
2. 場 所 日本学術会議 6B 会議室 6階
3. 出席者 辻村みよ子委員長、北里洋副委員長、小森田秋夫幹事、那須民江幹事、
山川充夫委員、吉川泰弘委員、萩原一郎委員、渡辺美代子委員
日本学術会議事務局企画課：高橋、伊藤、島田
日本学術協力財団：南、末次

【配布資料】

- | | |
|-----|----------------------------|
| 資料1 | 第16回科学者委員会広報分科会出席者一覧 |
| 資料2 | 第13回～第15回科学者委員会広報分科会議事要旨 |
| 資料3 | 第22期リーフレット最終案 |
| 資料4 | 「学術の動向」への寄稿に係る見直し事項案について |
| 資料5 | 「学術の動向」平成25年3月号以降の掲載予定記事一覧 |
| 資料6 | 現在寄せられている「学術の動向」特集記事等の企画案等 |

【参 考】

- 参考1 日本学術会議関連イベントスケジュール

議 事

- (1) 第13回～第15回科学者委員会広報分科会議事要旨案について
 - ・原案のとおり了承された。
- (2) 日本学術会議の広報活動について
 - ・資料3の第22期リーフレット最終案について、四役から修正が入ったと事務局から説明があったが、更なる意見が出されることはなく了承された。
- (3) 『学術の動向』について
 - ① 『学術の動向』への寄稿に係る見直し事項案について
 - 4種類の定期コーナー以外にコーナー名を「寄稿」、内容を「広範な内容について、科学者としての知見をまとめる。(4,000字程度)」とするもう一つのコーナーを設けることとした。同じ内容であれば連載も可とし、回数については、年に2回を限度とすることとした。
 - ② 『学術の動向』編集に係る会長との懇談について
 - 会長室で辻村委員長、北里副委員長及び武市副会長と会長との懇談が行われ、大西会長からの要望を受け、辻村委員長から、幹事会からの要望があれば、執行部からの企画提案を増やす、現在の「日本学術会議の動き」のコーナーを拡大するなどの対応をしたいと回答をしたとの報告があった。

③『学術の動向』への編集協力について

<特集>

(5月号)

- ・特集1：雇用崩壊とジェンダー
- ・特集2：福島原発事故による放射線被ばく－今後の対策と健康管理

(6月号)

- ・特集1：高レベル放射性廃棄物の処分を巡って
- ・特集2：福島原発事故による放射能汚染と森林・木材

(7月号)

- ・特集1：原発事故調査で明らかになったこと－学術の役割と課題－
- ・特集2：地域研究の「粋」を味わう－現地から中国、東南アジア、アフリカ、中東を読む

(8月号)

- ・特集1：東日本大震災後の住民の現状と環境有害物質リスク
- ・特集2：【特別企画】JAPAN PRIZE

(9月号)

- ・特集1：データと発見－Data Intensive Scientific Discovery
- ・特集2：日本の復興・再生に向けた産学官連携の新しいありかた

(今後の特集候補)

- ・公開シンポジウムから6つの候補を挙げ、担当者に対応いただけるかどうか打診し、対応いただけるものを候補とすることとした。

<表紙>

5月号から7月号までの表紙については、至急督促し、案が出された時点で、メール審議を行うこととした。

9月号の表紙についても、速やかに対応するよう指示があった。

<編集後記担当>

25年9月号～26年1月号の担当委員を決め、特集内容によっては随時見直すこととした。

(4) その他

- ・次回の広報分科会は、7月19日（金）14時から開催することとした。
- ・次々回の広報分科会は、10月2日（水）12時から開催することとした。